

FOR IMMEDIATE RELEASE
February 18, 2022

CONTACT: Masako Miki
mmiki@janm.org
213.830.5636

2022 年追憶の日にあたって

今週は大統領令 9066 号の発令から 80 周年にあたります。1942 年 2 月 19 日にフランクリン・ルーズベルト大統領がこの命令に署名したことから、第二次世界大戦中の日系人の不当な強制収容が始まりました。この節目の日に、私は有刺鉄線の向こうで過ごした少年時代のことを思い起こしています。私たちは、家から引き離されたことへの怒りを抱えていました。私たちは戦場でも連邦裁判所でも忠誠心を持ち続けていました。私たちは友人たちの中や日常生活に戻ることに不安を抱えていました。しかし、私たちは希望を失いませんでした。ハート・マウンテンは、私たちが民主主義の理想を守る続けるために必要なのは、適正な法の手続きのない私的制裁などではなく、常に緊張感を持って行動することだと教えてくれました。また生涯、公人として働いてきたことから、私は全ての人の理想を守るためには、立場を越えて共に働かなくてはならないことを学びました。

また、この国のアジア系に対する人種差別の歴史についても考えています。19 世紀後半から、アジア系はゼノフォビアの対象となり、命を奪うような暴力を振るわれてきました。パンデミックに伴って、私たちのコミュニティは、アジア系を感染症や汚染と結びつけられたり、自分たちとは異なるものとみなしたりする暴力の嵐にさらされてきました。これらは、反ユダヤ主義、コロニアリズム、土地収奪、奴隷制度を生み出したものと同じ根を持っています。それは人種隔離や人種差別、異人種間の婚姻を禁じた法とも同根です。それは、現在、アメリカや世界中の移民や有色人種に対する不公正を助長しています。

大統領令 9066 号の発令から 80 周年を迎えるにあたり、社会正義と公正さを推進していくためには、皆さん一人一人の参加を呼びかけます。JANM は日系アメリカ人の物語を保存するために設立されました。今日、私たちは公正さ、正義、自由というアメリカの理想を守るために、これらの物語を共有します。私たちは、日系人が不在の間に起こったことを理解し、二度とそのようなことが起こらないようにしていきます。だからこそ、私たちより前に生きた世代に敬意を表しつつ、私たちの後から来る世代にも伝えていかななくてはなりません。80 年前に私たちが直面したのと同じ不公正を経験しているコミュニティの窮状を理解するために、過去の教訓を今こそ、私たちはともに学ぶ必要があります。

ノーマン・ミネタ
元運輸長官・商務長官
全米日系人博物館 理事長

###

1985 年の設立より、全米日系人博物館 (JANM) は日系アメリカ人の経験を共有することによって、アメリカの民族的・文化的多様性への理解と認識を深めています。ロサンゼルスダウンタウン、歴史あるリトルトーキョー地区に位置する JANM は、伝統的な博物館のカテゴリーを超えたハイブリッドな施設で、日系アメリカ人の声を伝えるとともに、あらゆる人が自分たちのヘリテージや文化を探求できる場を提供することを目指しています。1992 年の一般公開以来、

JANM は 70 展以上の展覧会を開催し、そのうち 17 展はアメリカの Smithsonian 博物館やエリス島移民博物館をはじめ、日本や南米の主要な博物館など世界各地を巡回しました。当館についての詳細は janm.org をご覧いただくか、ソーシャルメディア@jamuseum でフォローしてください。